

2021年度 活動方針

1. 子育て支援事業について

地域の子ども達の健全育成と親の子育てへの不安軽減等、子育て環境の改善に寄与するための「産前からの切れ目のない支援」を行う。事業継続のための広報活動と資金獲得に努める。

(1) 訪問型子育て支援ホームスタート

- ・子育てに不安感をもつ家庭の訪問を30件以上訪問する。広報拠点を増やす。
- ・産前・産後の利用者を増やし、他講座や「ひろば」につなげ孤立感を軽減する。
- ・地域説明会や養成講座を開催してホームビジターを5名以上増やし訪問を円滑に行う。
- ・行政委託に向けて、運営協議会の開催および市への予算要望を行う。民間助成金を取得する。
- ・オーガナイザーは研修会に参加し、訪問活動のスキルアップに努める。

(2) 生活クラブ子育て広場ぶらんこ西東京（受託事業）

- ・事業目的と年間計画に沿って、運営を行う。（資料5参照）
- ・イベントの開催や閉所日の活用など、収益につながる事業を模索する。

(3) 講座・イベント・子育てひろば（受託事業を含む）

- ・親子向け講座・食育講座・親支援講座を継続し、子育てに役立つ情報提供を行う。

保育園ぼむとの共催でも開催する。

- ・ママと赤ちゃんのひろば「ミトンの会」の新たな拠点の検討、オンラインひろばや講座の開設などを検討する。
- ・上記講座や子育てひろばなどの参加者へ、企画や子育て広場ぶらんこ、ホームスタート、保育園ぼむのPRをして参加や利用につなげる。
- ・産前産後の親支援講座（新米ママと赤ちゃんの会・B Pプログラム・佐々総合病院の骨盤矯正など）の必要性を市内公共施設等へも働きかけ、講師の依頼も受ける。
- ・子育て支援者育成のための研修に参加する。

(4) 出張保育・出前講座

- ・出張保育や出前講座などを地域にアピールし、依頼を受ける。
- ・出張保育や一時預かり保育など収益事業の実現を模索し、働く場を増やすとともに事業継続のための資金確保をめざす。

(5) 地域活動（受託事業を含む）

- ・地域の子育てに関する行事等に参加し、地域の支援者・団体との交流や連携を図るとともに、子育て支援講座や子育て広場ぶらんこ、ホームスタート、保育園ぼむの周知をはかる。

2. ワーカーズの組織運営について

個々に違う働き方を認め合い、互いを活かし合う働き方をめざす。各々が主体性をもって関わり、情報を共有して話し合いながら運営を行う。

(1) 運営会議

- ・各々が運営者であることを認識し、対面・リモートにかかわらず積極的に発言をする。
- ・各事業及び各会議の担当者は、資料や活動報告書にて情報を共有する。メンバーが各事業について理解を深める機会を適宜もうける。
- ・ワーカーズの働き方の理解と意識向上を図るためにワーカーズ研修を行う。

(2) 理事会

- ・理事会を毎月開催し、活動・財務・広報等、全体状況を把握して運営をすすめる。
- ・議案を検討し提案する。運営会議資料を配信し、円滑な進行に努める。メンバー全体の運営についての意識向上を図る。
- ・理事の業務担当と内容を明確にし、理事体制を適宜見直していく。
- ・生活クラブとの協議会を適時設け、要望を提案し協議を行う。
- ・組織体制の見直しを柔軟に行い、変化する個々の働き方に対応して業務担当の偏りを解消しながら、事業を継続していく。

(3) 事務局

- ・事務局会議を毎月開催しNPO法人の活動に要する事項を話し合い、理事会との連携を図る。
- ・子育て支援事業が円滑にすすめられているかを確認し、運営会議で報告する。
- ・収支状況を把握し、毎月会計報告を行う。助成金の取得と報告を行う。
- ・ホームページやSNSの活用など効果的な広報を検討する。広報紙を毎月発行する。
- ・業務の停滞を起こさないために複数名で業務内容を把握し、引継ぎや分担をすすめる。
- ・新事業および、事業のオンライン化を検討する。

(4) 地域活動

- ・ 講座やイベントの開催内容を把握し、広報紙の配布や掲示・対象者への声かけ・地域交流の場でのPRなど、広報活動を行う。
- ・ 地域協議会や東京ワーカーズ関連などの会議・イベントに参加し、他団体との交流や連携を図る。

3. 生活クラブ保育園ぼむ

- ・ 保育園ぼむの方針に基づく。
- ・ 保育及び調理の決定・伝達事項等は、資料や活動報告書にて情報を共有する。

資料5

生活クラブ子育て広場ぶらんこ 事業目的 (広場事業によって目指す事)

①地域の人と出会い、豊かな関係性のなかで子育てできるように支援する

- ・ ひろばを利用する親同士を結び付ける
- ・ 子どもと一緒に遊ぶ、食べるなどの機会を提供する
- ・ エッコロやひととき保育によって、親以外の大人との関わりをつくる
(ぶらんこ西東京においては、エココロやひととき保育は行わない)

②子育てのスタートの時期に、育児や暮らしの知恵を伝える

- ・ 子育てに役立つ講座の企画
- ・ NPプログラムやFSプログラムなど、当事者主体に学びあう講座の企画
- ・ ちょっと困ったときに相談でき、情報や関係機関につなぐ

③子育て親子を地域と結び付ける。子育て親子を支える地域をつくる

- ・ 子育て家庭の応援団を増やす(近くの商店や関係機関とのネットワーク)
- ・ ボランティアの登場を促し、コーディネートする
- ・ 子育て親子と地域にあるグループ活動を結び付ける。親子で地域の活動に参加できる機会をつくる

④生活クラブ(サステイナブルな暮らし方)への参加の入口となる

- ・ 試食会、生産者の話を聞く機会、環境についての学習会(石鹼や自然エネルギーについて)、食材を無駄にしないで使いこなす調理講習会などの企画を通して生活クラブへの加入者を拡大する。